

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	京都府	事業実施主体	宇治市	地域再生計画名	「お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治」の創造計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	宇治市 上下水道部長 山田 雅彦		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標指数		達成度				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理施設の整備の促進 (汚水処理人口普及率の向上)	91 (%)	H26	97 (%)	H29	97 (%)	98 (%)	H31	97 (%)	×	3 1	住居地域を中心に整備を行う予定であったが、整備箇所調整による工区の変更及び処理人口の減少により、汚水処理人口普及率の目標値を達成することができなかった。 下水道整備率の上昇に伴い平均BOD負荷量の数値が減少し、最終年度では目標値を下回ることができた。引き続き、汚水処理事業の整備及び公共下水道接続率の向上に努め、水辺環境の保全に貢献する。 鵜飼乗船者数増加に寄与するため、汚水処理事業を促進し水辺環境の保全に努めた。しかしながら、宇治川鵜飼が天候不良による増水及び河川改修事業による流速増加に伴う中止が多く、営業日数が減少したことなどにより、鵜飼乗船者数増加の目標値を達成できなかった。
	指標 2	宇治市中小河川の水質改善 (地域再生計画による下水道整備地域5河川の平均BOD負荷量の減少)	41.5 (kg/日)	H26	30.8 (kg/日)	H29	29.4 (kg/日)	18.0 (kg/日)	H31	17.8 (kg/日)	○		
	指標 3	宇治川周辺の水辺環境の改善 (宇治川鵜飼乗船者数の増加)	6,970 (人)	H26	7,570 (人)	H29	6,390 (人)	8,000 (人)	H31	2,635 (人)	×		
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	市内中小河川（10河川）のBOD年平均を基準年測定値より減少させる	4.2 (mg/l)	H26	-	H29	3.1 (mg/l)	-	H31	3.5 (mg/l)	○	/	上記の指標 2 でみられた平均BOD負荷量の減少と同様に、中小河川で改善が見られた。
	指標 2	家庭系のごみ排出量を基準値より減少させる	479 (g/人・日)	H26	-	H29	436 (g/人・日)	-	H31	453 (g/人・日)	○		ごみの分別・減量化にむけて啓発したことから、基準年度より家庭系ごみの排出抑制に効果が見られた。
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業 (東宇治処理区、槇島処理分区)	延長 L=19,700m	延長 L=12,730m	延長 L=20,616m	整備延長は計画に沿って順調に延びており、最終年度で目標を達成することができた。								
	個人設置型浄化槽整備事業	箇所数 100基	箇所数 6基	箇所数 10基	最終実績は計画値を大幅に下回る結果となったが、引き続き浄化槽設置整備事業補助金制度の積極的な利用に向けてPRを行う。								
その他の事業	地域美化清掃活動「クリーン宇治」	宇治市内各種団体および市民ボランティアにより清掃活動を行う			宇治川周辺を中心に継続的に活動することで「ごみのポイ捨てが発生しづらい環境づくり」に貢献し、環境への関心を高めている。								
	ポケットパーク緑化活動	地域住民等によりポケットパークの植樹および日常の維持管理を行う			ボランティア活動により、まちかどにやすらぎ空間を創造している。今後も、資材や花苗の提供を継続して支援する。								
	子ども環境学習会	地球温暖化に関する講演や体験型学習を行う			ボランティア活動による小学校での体験型学習会を行うことで、児童の環境への関心を高めている。								
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金事業	宇治川周辺地区以外の公共下水道および東宇治浄化センターの整備を実施			地方創生汚水処理施設整備推進交付金事業とともに、宇治市公共下水道を整備しており、今後も早期の整備完了に向けて事業実施を行う。								
	下水道事業の広報活動	宇治川沿いの観光センターで宇治市マンホールカードを交付			マスコミに取り上げられるなどPR効果があり、下水道事業への理解へつながったほか、宇治川周辺の来客数増加に効果があった。								
④評価方法	関係部署による評価会議を開催後、学識経験者等の意見を求め、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。												
⑤事後評価の公表方法	宇治市上下水道部下水道計画課のホームページに掲載及び下水道計画課窓口での閲覧												
⑥計画全体の総合評価	3つある指標のうち、2.対象河川の平均BOD負荷量の減少については下水道の整備を計画的に行ったことにより最終年度で目標を達成することができた。しかしながら、1.汚水処理人口普及率及び、3.宇治川鵜飼の乗船者数増加については最終目標値を達成することができなかった。 なお、整備による波及効果については、市内中小10河川のBOD年平均測定値の減少（目標値：4.2mg/l未満）家庭系のごみ排出量の減少（目標値：479g/人・日未満）ともに、最終年度で目標値を達成することができた。 その他事業についても継続的に活動することにより生活環境・水辺環境の保全に寄与することができた。												
⑦今後の方針等	地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用し、公共下水道については地域・地形の特性を考慮しながら今後も計画的に整備及び普及活動を進めていく。 また、合併処理浄化槽については、浄化槽設置整備事業補助金制度のPR活動を充実させることにより設置件数の向上を促すことで、公共用水域の水質保全や水辺環境の改善を図っていく。												